



新宿山吹だより

都立新宿山吹高等学校通信
令和6年度第11号
【令和7年1月14日】

新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

新年好！（新年おめでとう）

校長 永浜 裕之

タイトルの「新年好！」は中国語の「新年おめでとう！」です。「シンニャンハオ」と読みます。中国だけでなく世界中のチャイナタウンで、今月1月29日は「新年好」の挨拶が交わされます。何故なら、旧暦の元旦が、今年は1月29日だからです。旧暦で正月を祝うのは中華圏だけではなく、韓国、北朝鮮、モンゴル、シンガポール、マレーシア、ベトナム、インドネシアなども旧暦で正月を祝います。

日本は明治6年（1873年）、旧暦をグレゴリオ暦（新暦）に改めました。当時の日本は太陰太陽暦を採用していましたが、欧米の暦は太陽暦でした。そのため、旧暦のままでは貿易などで不都合が生じると考えたのです。明治政府は太陽暦を採用することにして、旧暦の明治5年12月3日を新暦の明治6年1月1日とする『改暦』を行いました。

ちなみに旧暦は、厳密な計算と天体観測で月日が決まり、月の満ち欠けと日付が見事に一致します。毎月3日は必ず三日月になり、15日には十五夜の満月となります。太陽の運行、つまり肌で感じる季節感とも合うと言われています。

1月は29日と30日が交互に来て、3年に1回（厳密には19年に7回）閏月（うるうづき）が置かれます。

七夕（たなばた）を例にとると、以前は旧暦7月7日に祝いましたが、日本では新暦の7月7日に祝います。7月7日は梅雨の季節であり、織姫・彦星が会える可能性は低くなります。旧暦7月7日は、今年は新暦8月29日となるため、旧暦に合わせて七夕を祝えば、星を見上げながら願い事をする可能性が高くなります。「暦の上では春」のような季節感のずれは、旧暦の日付をそのまま新暦に適用しているせいかもしれません。

なお、東アジアで新暦1月1日に正月を祝う国は、日本以外は（カトリックの）フィリピンで他の国はすべて旧暦で正月を祝います。役所や会社は新暦で仕事をしますので分かりづらいのですが、昔から続く年中行事は旧暦で祝います。

旧暦のお正月は東アジアの殆どの国で国民の休日となり、中国でも台湾でも仕事を休みます。その代わり、年末年始で仕事を休むのは1月1日だけです。

また、中韓両国とも誕生日を旧暦で言う人が多く、新暦の誕生日にお祝いを告げると、早過ぎることになります。彼らの感覚では、干支（えと）も旧暦で考えます。巳（み）年は1月29日から始まり、1月28日までは辰（たつ）年なのです。

ちなみに、中国の人は、新年のお祝いの言葉に「新年好」のほか、日本と似た「謹賀新春」も使います。より一般的なのは「大吉大利」、「事事順心」（万事思い通りに行きますように）、「恭喜發財」（今年もお金が貯まりますように）などです。中国人の実利主義の面目躍如と言えるのかもしれません。日本人のように、単に「良い年」をと祈り、相手の健康や家族の幸福を願う言葉を年賀状に添える日本人より、唯物的と感じます。

七福神の中に「福祿寿」という老人がいます。「福祿寿」は道教の神で中国でも信仰されています。この福祿寿こそが中国人の幸福感を象徴していると言えます。福とは単なる幸せではなく、**子宝に恵まれる**ことを意味し、祿とは**お金**、寿は**健康な長寿**を意味します。

「子や孫に恵まれ、財を築き、長寿をまっとうする」、これが中国人の思い描く理想なのです。

第34回山吹祭「山吹色に染め上げろ」～文化祭実行委員の取り組み～

生活指導部担当

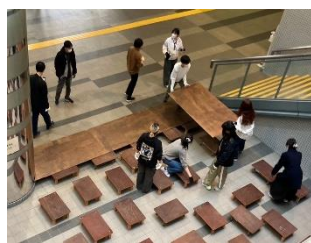
12月21日（土）に第34回山吹祭「山吹色に染め上げろ」が開催されました。各出展団体の皆さんはもちろん頑張っていました。実は裏方の文化祭実行委員（文実）の生徒たちも、とても活躍してくれていました。今年度は、定時・通信合わせて65名の生徒が実行委員に参加し、5月から準備を進めてきました。今回はこの場を借りて全6部署での実行委員の頑張りを紹介していきたいと思います。

<広報部・出展企画部>

皆さんも一度は目にした山吹祭ポスターやパンフレット。これは、広報部が文章の打ち込みから製本まで丹精込めて作り上げたものです。今年度は謎解き企画も実施し、お客さんが山吹祭をより楽しめるよう工夫しました。また、各出展団体への物品貸出や机椅子の移動を行っていたのが出展会場部です。各団体の準備がうまく進むよう陰から手助けを行いました。



<美術装飾部・ステージ企画部>



美術装飾部は、テーマに合わせた「山吹色」の装飾を行いました。特に傘をつなぎ合わせて作ったエントランス装飾は、山吹祭の明るい雰囲気を作ってくれましたね。山吹祭前日の校内祭や当日のステージ発表を盛り上げてくれたのは、ステージ企画部です。実はこのステージ（舞台）も実行委員で組み立て

ているのです！発表中の司会はもちろん、校内祭でのクイズやビンゴ大会など、参加者の皆さんに楽しんでもらえるように工夫しながら頑張りました。

<食品部・会計部>

今年も大盛況の食品販売。食品部は各調理団体のサポートを行い、スムーズに食品提供が進むよう手助けを行いました。また、販売団体が使用した金券は、会計部で作成したものです。当日は販売個数の把握やお金の管理もフォローし、販売促進のお手伝いをしました。



<実行委員の感想紹介・担当より>



周りの委員の子達と仲良くなれてなかつ、すごく楽しく終われた。／楽しいのはもちろん、自分が関わった祭りだと、山吹祭自体にも思い入れがわく。／自分に誇りが持てた。／大変だったけれど、やり終えた後参加して良かったと思った。／文化祭当日の楽しみや、達成感が大きかった。／人とコミュニケーションをとって、一つのものを作るという経験ができた。

文実の皆さん、約8か月間、本当にお疲れ様でした！これを読んで文実が気になった人は、ぜひ来年度挑戦してみてください。

山吹祭に協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

5月2日（木）セーフティー教室“命の大切さを学ぶ教室”

犯罪被害者支援「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールに本校生徒が応募し、約4800名応募の中から8名の優秀作品（うち本校生徒2名）が選ばれました。12月17日（火）に警視庁牛込警察署の署長室で、本校2名の生徒が牛込警察署長に表彰されました。



定時制課程 学校行事予定

1月8日（水）授業開始
18日（土）大学入学共通テスト
19日（日）大学入学共通テスト
24日（金）午前授業
（午後、入学者選抜準備）
26日（日）推薦入学者選抜
2月3日（月）自己探索学習

通信制課程 学校行事予定

1月11日（土）後期スクーリングー11
18日（土）後期スクーリングー12
大学入学共通テスト
19日（日）大学入学共通テスト
25日（土）生徒相談日
2月1日（土）後期試験ー1
8日（土）後期試験ー2

